

度会町における

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果・分析と今後の取組について

度会町教育委員会

令和5年10月

小学校第6学年及び中学校第3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果概要について、度会町の児童生徒の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の分析結果や今後の取り組みを以下のとおりまとめました。

「全国学力・学習状況調査」は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる目的で実施されている全国調査です。また、そのような取り組みを通じて、よりよい教育のための継続的な検証改善サイクルを確立することが目的です。

しかしながら、調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校及び家庭や地域での教育活動における数値化可能な部分の一側面です。このことを今回の調査において十分考慮し、今後の当町の教育の一層の充実を図っていくことが大切です。

1. 調査の概要

(1) 調査日

令和5年4月18日（火）・4月27日（木）・5月11日（木）

(2) 対象者

度会小学校6学年（62名）、度会中学校3学年（68名）で実施

(3) 対象科目等

小学校：国語・算数（児童質問のみ4月27日実施）

中学校：国語・数学・英語（英語「話すこと」・生徒質問のみ5月11日実施）

(4) 調査内容

①教科に関する調査

ア) 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

イ) 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

上記の2点を一体的に問い、検証を行うことにより、教科指導や学習状況の改善につなげる。）

②生活習慣や学習環境等に関する調査

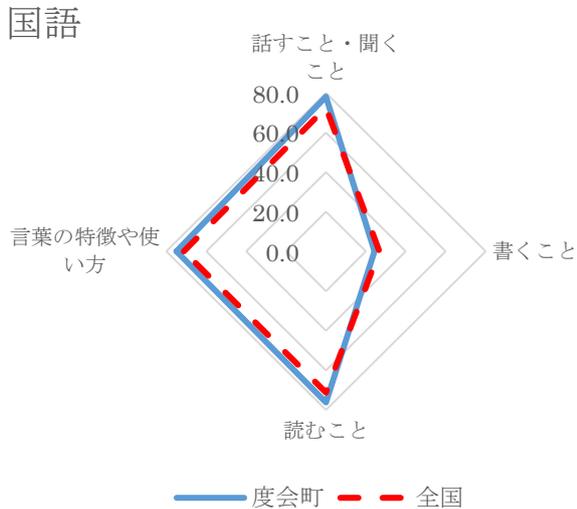
ア) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する状況等を確認・把握する。（児童・生徒質問紙）

イ) 学校における指導方法に関する取組や学校における人物・物的な教育条件の整備状況等の確認・把握する。（学校質問紙）

2. 教科別概要

(1) 小学校国語

■領域別平均正答率の状況



■調査問題結果からみる傾向 (強み○弱み△)

○送り仮名に注意して、文の中で使うのに適切な漢字を選択する力

(町 95.7% 県 94.2% 全国 93.1%)

○文の種類とその特徴について理解して、適切な内容を選択する力

(町 90.2% 県 78.9% 全国 79.8%)

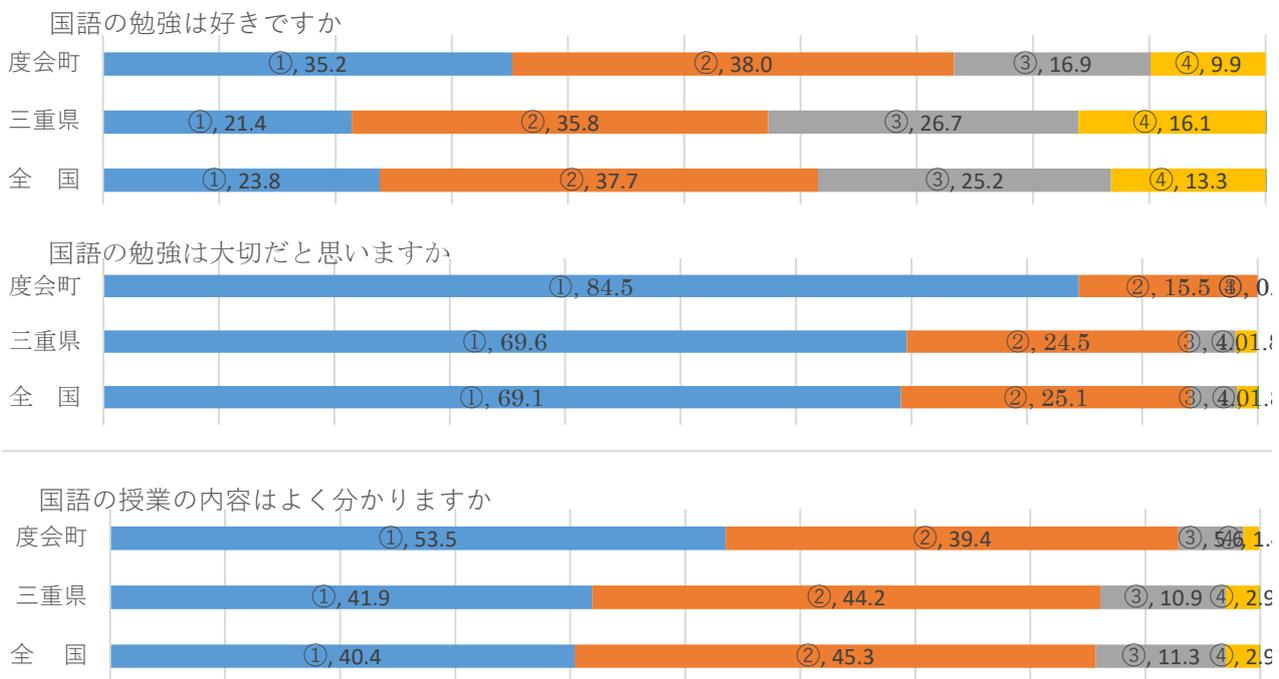
○目的や意図に応じ、話の内容を捉え、相手の考えと比較して自分の考えをまとめる力

(町 80% 県 71.7% 全国 70.2%)

△図表・グラフを使い自分の考えが伝わるように文章を工夫する力

(町 24.3% 県 26% 国 26.7%)

①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない



■全体的傾向と課題

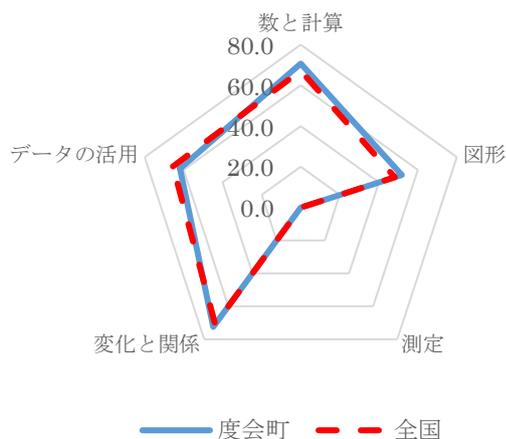
- ・「国語の勉強は好きですか」「国語の勉強は大切だと思いますか」「国語の授業の内容はよくわかりますか」という問いに対し、①当てはまる ②どちらかといえばあてはまる と回答した児童をあわせた割合が、県・全国と比べて大幅に高くなっています。
- ・言葉の特徴や使い方に関する事項については、概ね身につけています。

- ・ 目的や意図に応じ相手の話の内容を捉え、考えを比較しながらまとめる力がついてきています。
- ・ 文書の書き方や構成、特徴等を捉える力はついてきています。
- ・ 自分の考えを持ち、読み手や相手に伝わるように表現したり、より伝わるように工夫したりする力は、県や国と同様経年的な課題となっており、力を伸ばしていく必要があります。

(2) 小学校算数

■ 領域別平均正答率の状況

算数



■ 調査問題結果からみる傾向 (強み○弱み△)

○ 伴って変わる二量について表から変化の特徴を読み取り、知りたい数を求める力

(町 94.3% 県 93.3% 全国 93.5%)

○ 正方形の意味や性質について理解している

(町 90% 県 88.9% 全国 87.2%)

△ 正三角形の意味や性質を理解している

(町 28.6% 県 23.2% 全国 24.9%)

△ 三角形の底辺と高さの関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数で記述する力

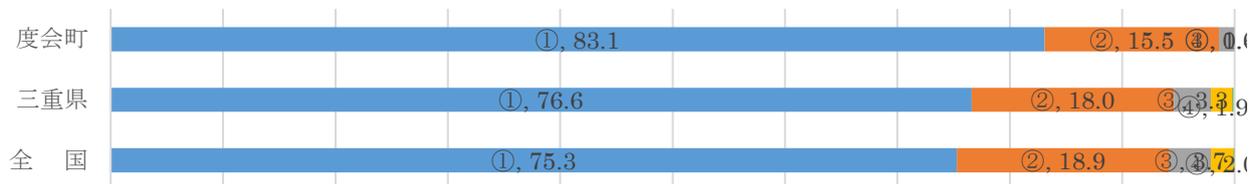
(町 17.1% 県 15.5% 全国 20.8%)

①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない

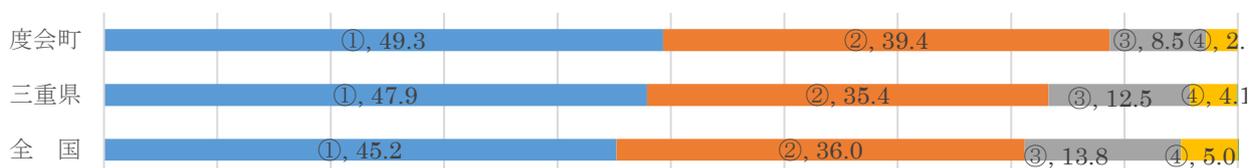
算数の勉強は好きですか



算数の勉強は大切だと思いますか



算数の授業の内容はよく分かりますか



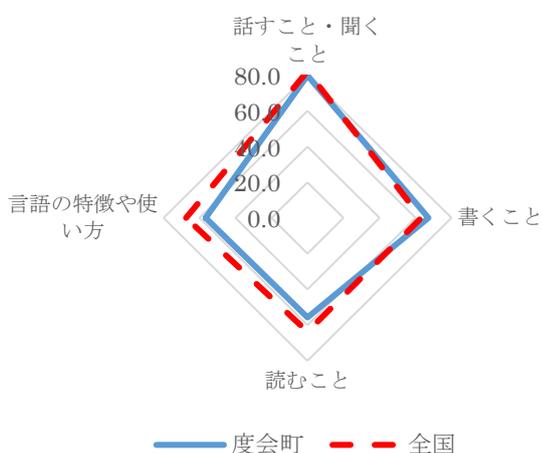
■全体的傾向と課題

- ・「算数の勉強は好きですか」「算数の勉強は大切だと思いますか」「算数の授業内容はよくわかりますか」という問いについて、①当てはまる ②どちらかといえば当てはまると回答した児童をあわせた割合が、県・全国と比べて高くなっています。
- ・伴って変わる量の関係等、表を用いて変化と関係を捉え、活用する力がついてきています。
- ・台形や正方形の意味や性質については理解が定着していますが、正三角形については意味や性質の理解を深めていく必要があります。

(4) 中学校国語

■領域別平均正答率の状況

国語



■調査問題結果からみる傾向 (強み○弱み△)

○目的な場面に応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみる力

(町 90.2% 県 87.3% 全国 87.5%)

○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む力

(町 90.2% 県 79.3% 全国 82.5%)

△文脈に即して漢字 (*おし量って) を正しく書く力

(町 24.6% 県 40.2% 全国 43.9%)

△文章の構成や展開、表現の効果について根拠を明確にして考えることができる力

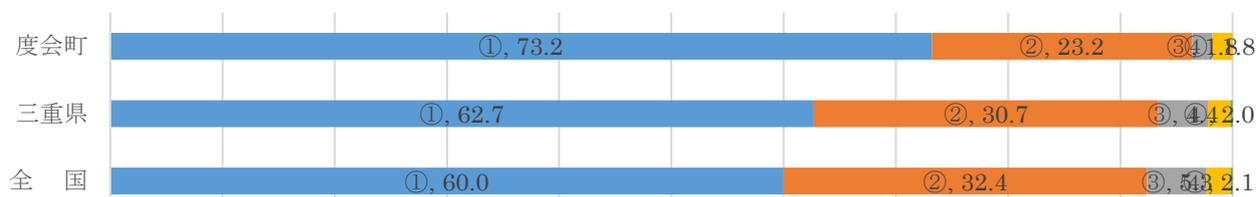
(町 39.3% 県 49.9% 全国 50%)

①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない

国語の勉強は好きですか



国語の勉強は大切だと思いますか



国語の授業の内容はよく分かりますか



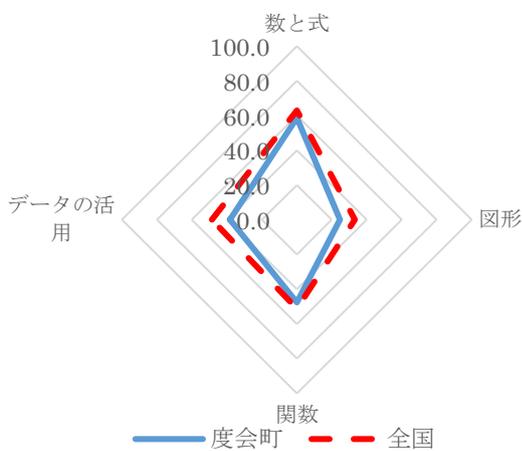
■全体的傾向と課題

- ・「国語の勉強が好きですか」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立ちますか」「国語の授業の内容はよく分かりますか」という問いに対し、①当てはまる ②どちらかといえばあてはまる と回答した生徒をあわせた割合が、県・全国と比べて高くなっています。
- ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読んだり、古典と現代語訳を対応させたりしながら読み、内容を捉える力が付いてきました。
- ・文脈に沿って漢字を正しく使う力をつける必要があります。
- ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えたり、自分の考えをまとめたりする力をさらにつけていく必要があります。

(5) 中学校数学

■領域別平均正答率の状況

数学



■調査問題結果からみる傾向 (強み○弱み△)

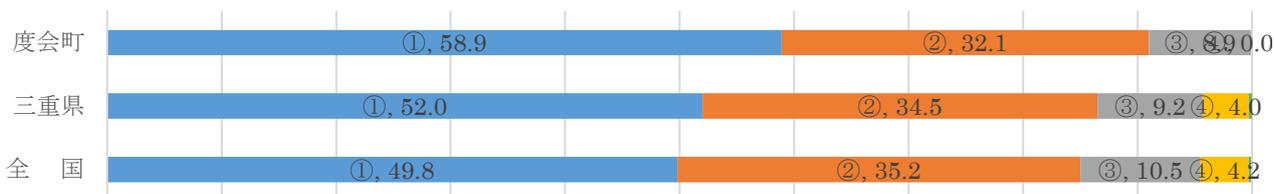
- 自然数の意味を理解している (町 56.5% 県 50.4% 全国 46.1%)
- 問題場面を正確に捉え、場面に沿って数を処理する力 (町 87.1% 県 88% 全国 88.9%)
- △空間における平面が同一線上にない3点で決定されていることを理解している (町 24.2% 県 28.5% 全国 30.4%)
- △累積度数の意味を理解している (町 25.8% 県 44.4% 全国 46.1%)
- △ある事柄が成り立つことを構想に基づき、証明する力 (町 21% 県 31.9% 全国 32.1%)

①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない

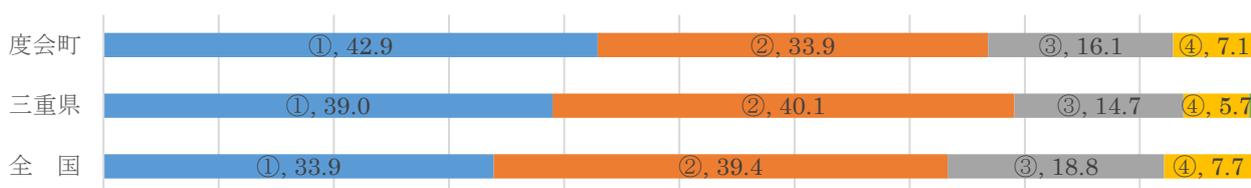
数学の勉強は好きですか



数学の勉強は大切だと思いますか



数学の授業の内容はよくわかりますか



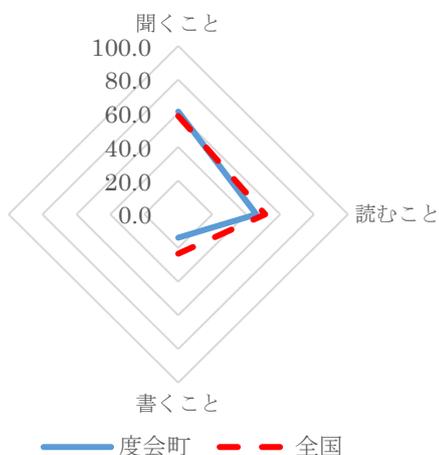
■全体的傾向と課題

- ・数学の勉強が大切だと思っている生徒の割合が、三重県全国と比べて高くなっています。「数学の勉強が好きですか」「数学の授業の内容はよくわかりますか」という問いに対しては、県・全国よりも低い傾向が見られます。また、記述（証明）問題での無回答は県・全国よりも高い傾向が見られます。
- ・数と式の理解に関わる内容については、昨年度よりも改善傾向が見られます。
- ・全ての正答率が県・全国平均を下回っています。空間における平面の条件、累積度数の意味、証明等、各学年での学習内容全般についてより理解、定着を深め、適用力を高めていく必要があります。

(6) 中学校英語

■領域別平均正答率の状況

英語



■調査問題結果からみる傾向（強み○弱み△）

- 英語で情報を正確に聞き取り、選択する力
(町 85.5% 県 80% 全国 79%)
- 社会的な話題について、短い説明の要点を捉え、選択する力
(町 56.5% 県 53.8% 全 54.8%)
- △社会的な話題に関して読んだことについて、自分の考えとその理由を書く力（無回答 33.9%）
(町 9.7% 県 18.6% 全国 19.5%)
- △言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができる力（無回答 30.6%）
(町 12.9% 県 28% 全国 29%)
- △日常的な話題について、事実や自分の考えを整理し、まとまりのある文章を書く力
(町 4.8% 県 7% 全国 7.4%)

①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない

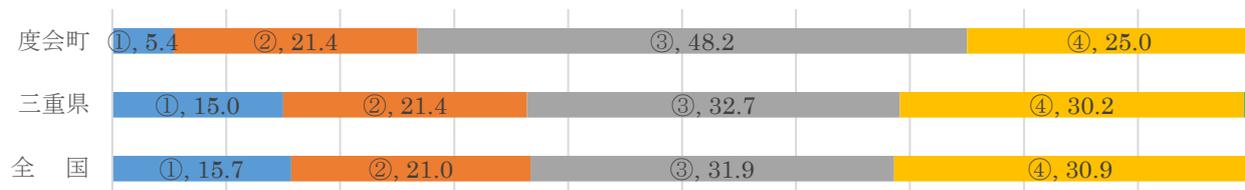
英語の勉強は好きですか



英語の勉強は大切だと思いますか



将来、積極的に英語を使うような職業に就いたりしたいと思いますか



■全体的傾向と課題

- ・英語の勉強は大切だと思っている生徒の割合が、県・国よりも高い傾向にあります。
- ・「英語の勉強が好きですか」「将来、積極的に英語を使うような職業に就いたりしたいと思いますか」の問いに対して、①当てはまる ②どちらかといえばあてはまると回答した生徒の割合が、県・国よりも低い傾向です。
- ・情報を正確に聞き取る力、自分の置かれた状況から判断して必要な情報を聞き取る力、短い説明の要点を捉えたりする力がついてきています。
- ・英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えを書く、日常的な話題を通じて事実や自分の考えを整理してまとまりのある文章を書く等、読んだり聞いたりしたうえで「自分の意見や考え」を表現ことに課題があります。また、これらの内容については県や国と比較して、無回答率が高い傾向があります。

(7) 各教科平均正答率の状況

<小学校>

(%)

平均正答率	国 語	算 数
度 会 町	7 1	6 5
三 重 県	6 7	6 2
全 国	6 7. 2	6 2. 5

<中学校>

(%)

平均正答率	国 語	数 学	英 語
度 会 町	6 6	4 5	4 0
三 重 県	6 9	5 1	4 5
全 国	6 9. 8	5 1	4 5. 6

3. 児童生徒質問紙調査の概要

児童生徒質問紙は、児童生徒の生活や学習の様子をアンケート形式で問う調査のことです。

生活全般の諸側面や豊かな心の育成に関わること、学習環境に関わること等への問いがあります。各教科に関する主な質問紙調査結果については、2. 教科別概要でも掲載しています。

この項では、「豊かな人間性・学校生活・家庭生活（生活習慣・学習習慣）」の3つの項目に係る主な調査結果と傾向について記載しました。

なお、特別に記載のない質問項目については、「している」「どちらかと言えばしている」又は、「当てはまる」「どちらかと言えばあてはまる」と回答した割合の合計を記載しています。

【豊かな人間性】

(%)

質問項目		度会町	三重県	全国	全国比
自分には良いところがあると思いますか	小	84	80.9	80	4
	中	80.3	81.9	83.5	- 3.2
人が困っているときは、進んで助けていますか	小	89.3	89.2	88.1	1.2
	中	90.1	92.3	91.6	- 1.5
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれだけありますか（よくある・時々ある割合）	小	97.2	90.1	91	6.2
	中	87.5	87.9	86.8	0.7
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか	小	98.6	97.4	96.9	1.7
	中	91	95.6	95.5	- 4.5

- ・自分には良いところがある（自己肯定感）という問いに対して、小学校では県・国よりも高い傾向、中学校では県・国よりも低い傾向が見られました。また、いじめに関する認識についても、小学校と中学校において差が見られました。

【学校生活】

(%)

質問項目		度会町	三重県	全国	全国比
学校に行くのは楽しいと思いますか	小	87.4	84	85.3	2.1
	中	87.5	88.3	81.8	5.7
友達関係に満足していますか	小	97.2	90.3	90.3	6.9
	中	89.3	89.7	88.7	0.6
自分と違う意見について考えるのは楽しいですか	小	81.7	76.3	76.5	5.2
	中	82.2	79.4	77.6	4.6
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	小	64.7	68.3	68.5	- 3.8
	中	75	68.8	66.4	8.6

- ・「学校に行くのは楽しい」「友だち関係に満足している」と回答する児童生徒の割合が県・国よりも高い傾向が見られます。
- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と回答する児童生徒の割合が県・国よりも高い傾向が見られます。
- ・自分が困ったり不安になったりした時に相談できる大人が学校にいる、と考えている児童生徒の割合が、小学校と中学校で差が見られました。中学生において割合が高い傾向が見られます。

【家庭生活（生活習慣）】

(%)

質問項目		度会町	三重県	全国	全国比
朝食を毎日食べていますか	小	98.6	93.6	93.9	4.7
	中	92.9	91.5	91.2	1.7
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	小	90.1	80.1	81	9.1
	中	85.7	78.3	78	7.7
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	小	95.7	90.7	90.5	5.2
	中	96.5	91.4	91.3	5.2
新聞を読んでいますか	小	16.9	11.8	12.6	4.3

	中	7.2	8.4	8.1	-0.9
--	---	-----	-----	-----	------

- ・朝食を毎朝食べている児童生徒は小学校・中学校ともに90%を超えていますが、特に小学校において高い傾向です。
- ・毎日同じくらいの時刻に就寝して、同じくらいの時間に起床すると回答した児童生徒が県、全国よりも高い傾向です。
- ・新聞を読んでいると回答した割合が、小学校において県・国と比べ高い傾向にあります。

【家庭生活（学習習慣）】

(%)

質問項目		度会町	三重県	全国	全国比
家で計画を立てて勉強をしていますか（授業の予習・復習を含む）	小	67.6	68.7	70.7	-3.1
	中	62.5	58.1	55	7.5
平日、学校以外での1日あたりの学習時間（塾・家庭教師・オンライン学習等含む1時間以上）	小	60.5	54	57.1	3.4
	中	60.7	64.9	65.8	-5.1
学校が休みの日の1日あたりの学習時間（塾・家庭教師・オンライン学習等含む1時間以上）	小	36.5	44.7	52.5	-16
	中	55.4	59.6	65.3	-9.9
学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっている学習時間（わからないところ・学校よりも進んだ内容・難しい内容）	小	33.8	31.2	31	2.8
	中	26.8	33.3	30.2	-3.4

- ・「計画立てて家庭学習をしている」と回答した割合は、小学校では県・国よりも低く、中学校では高い傾向です。
- ・平日の学校以外での学習時間は、小学校において県・国よりも長く、中学校では短い傾向です。
- ・学校が休みの日の学習時間は、小学校・中学校ともに県・国より短い傾向です。

4. 全国学力学習状況調査を踏まえた今後の取り組みについて

小学校では、継続的な取組として朝の学習時間を有効活用しています。落ち着いた気持ちで読書をしたり、定着しきれていない箇所の反復練習をしたりすることにより、授業への集中、基礎学力の向上など、学習効果が上がっています。また、各学年に応じた家庭学習の提示とともに、「家庭学習の手引き」を配布することでご家庭と連携し、継続した子どもの学びの実現に向けた取り組みを行ってきました。

中学校では、「W-S T Y L E（わたらいスタイル）」に沿って、生徒自らが規律を守ることによって相手を思い合い、居心地がよく安心して学ぶことができる環境づくりとともに、生徒自らが学びに向かい、継続して学び続けようとする姿をめざして、教職員の指導の統一化の徹底を図ってきました。

小中学校において、ICT機を積極的に活用した授業を行っています。家庭への持ち帰りも積極的に行い、家庭学習や自主学習等学びのツールとしても子どもたち自らが効果的に

活用するスキルが向上しつつあります。また、算数・数学の授業において、習熟度別の学習を行っています。既習事項の定着度や理解度に応じたクラス分けを行うことで、じっくり考えたり、いろいろな問題を解いたりして、子どもたちが意欲的に学習に取り組む姿が多く見られるようになってきました。

主体的・対話的で深い学び、途切れない学びの実現を通し、一人ひとりの学力向上、誰ひとり取り残さない教育の充実を目指しています。

今回の調査で見えてきた子どもたちの姿をふまえ、今後も一小一中の強みを生かした9年間の義務教育を柱として、学校・家庭・地域が更なる連携を図り、子どもたちが「度会町で学ぶ」学習環境・学習内容の充実に取り組んでいく必要があります。

ご家庭や地域の皆さまには、今後も教育活動へのご理解・ご協力とともに、ご家庭や地域における子どもたちの成長へのサポートを、これからもよろしくお願いいたします。